

水土里 ネット あおりだより

CONTENTS

新年のごあいさつ	会 長	丸井 裕	2
	青森県知事	宮下 宗一郎	3
	参議院議員	進藤 金日子	4
令和8年度 農業農村整備事業関係予算			5
農業農村整備事業予算の確保等に向けた要請活動			6
東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会の活動			7
令和7年度 事業計画重点推進事項の取組状況			8
第47回 全国土地改良大会 佐賀大会			11
インターンシップ/合同企業研修セミナー			12
青の煌めき国スポ・障スポ感謝状贈呈式/開催1年前イベント			13
各部会の活動状況			14
専門研修の開催			16
多面的機能支払協議会の活動			17
- 農山漁村 - 水循環保全学会の活動			18
第10回 あおりの農山漁村フォトコンテスト			19
ラジオCM/ 絵画コンクール/ 植栽活動コンテスト/ 今後の予定20			

表紙写真：令和7年度あおりの農山漁村フォトコンテスト
農山漁村の風景部門
最優秀賞「こんべいとうが揺れる丘」

2026年 1 月
第414号

青森県土地改良事業団体連合会
(水 土 里 ネット 青 森)





新年のごあいさつ

青森県土地改良事業団体連合会

会長 丸井 裕

あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、本会の運営と農業農村整備の推進にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

まず、年末に発生した青森県東方沖地震では、県民生活や経済活動に様々な影響を及ぼすなど、自然災害の脅威を改めて認識させられました。被害に遭われた皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、年明けの豪雪や夏場の記録的な猛暑、渇水など自然条件に大きく左右される一年でありました。そのような中であっても、幸い農業生産は大きな影響を受けず、米や野菜につきましては平年並みの作況となりました。こうした厳しい環境においても、安定した生産と品質が維持されてきたことは、農家の皆様のためまぬ努力によって地域農業が支えられていることを改めて実感しました。

また、米価につきましても、生産者にとって、ひと息つける水準となった年であったと受け止めております。

さて、わが国の農業・農村を取り巻く環境は大きく変化し、農業者の高齢化や担い手不足、人口減少による集落機能の低下、消費者ニーズの多様化など持続可能な農業の実現に向け、さまざまな課題への対応に迫られています。

こうした環境の変化を踏まえ、国においては、食料・農業・農村基本計画や土地改良長期計画に基づき、初動の5年間で農業の構造転換を集中的に進めるため、農地の大区画化・集約化やスマート農業の推進などに取り組むこととしております。

昨年末に閣議決定された令和8年度農業農村整備事業関係予算の概算決定額は、4,504億円となり、令和7年度補正予算2,439億円と合わせて6,942億円が確保されました。昨年度の6,500億円から442億円増額となる内容であり、農業構造転換集中対策の推進に必要な別枠予算も盛り込まれた予算措置となっております。これにより、食料安全保障の強化や国土強靱化等を図るための農業農村整備が計画的に推進されるものと大きな期待を寄せております。

本会といたしましては、会員や関係者の皆様方のご期待に応えるべく、社会情勢や農業・農村の課題を的確に認識し、新たな時代のニーズに対応できるよう、人材育成にも取り組みながら、農業農村整備の推進に励んでまいりますので、一層のご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、国政レベルでは、我々の代表者である進藤議員に現場の声を届け、地域の課題解決に向けた取組を進めてまいりますので、皆様方の一層の御支援と御協力をお願いいたします。

結びに、本年が災禍に見舞われることなく、実り多き一年となりますよう、心から祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



新年の挨拶

青森県知事

宮下 宗一郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から農業農村整備事業の推進はもとより、県政全般にわたり格別の御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

本県の自然豊かで歴史ある大地は、「青天の霹靂」や「はれわたり」、「まっしぐら」などの県産米をはじめ、りんごやにんにく等、全国トップクラスの品質と生産量を誇る農産物を数多く育てています。

このような、先人たちが守り築き上げてきた水・土・里をしっかりと次世代へ引き継いでいくため、農業水利施設の適正な維持管理や、農地の保全に資する共同活動などにより、地域の農業・農村を下支えしている土地改良区の役割がますます重要となっています。

昨今、食料・農業・農村を取り巻く環境は、国際情勢の不安定化や気候変動による異常気象、人口減少や高齢化など、大きく変化しています。

こうした中、昨年4月に農業生産基盤の整備と保全を的確に実施できるよう土地改良法が改正され、9月には新たな土地改良長期計画が策定されました。また、国は、平時からの食料安全保障を実現する観点から、今年度から5か年で農業の構造転換を集中的に推し進めることとしており、農業農村整備を巡る状況は大きな転換点を迎えています。

県では、このような社会情勢の変化に対応しながら、「青森新時代『水土里づくり』強化プラン」に基づき、スマート農業の実装を可能とする基盤整備や農業農村整備プロセス全体でのICTの活用、機能保全計画に基づく農業水利施設の適期の更新整備、防災重点農業用ため池の地震・豪雨対策など、農業・農村の持続的な発展を支える農業農村整備の取組を推進していきます。

加えて、将来にわたって地域の良好な営農環境が維持・確立されるよう、改正土地改良法に位置付けられた「水土里ビジョン」については、土地改良区が地域の関係者と共同で策定する取組を積極的に支援していきます。

今後も皆様の意見を施策に反映し、取り巻く環境の変化に的確に対応しながら着実に県政を前進させてまいりますので、引き続き、会員の皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、今年には本県において、あすなる国体以来49年ぶりとなる国民スポーツ大会、本県では初めてとなる全国障害者スポーツ大会が開催されます。スポーツで県民の心が一つになるような大会を目指しますので、皆様におかれましても、競技会場での応援などを通じて、この大会を大いに盛り上げていただきますようお願いいたします。

結びに、新しい年が皆様にとって幸多き年となりますようお願い申し上げ、新年の御挨拶といたします。



新年にあたって

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤 金日子

あけましておめでとうございます。青森県土地改良事業団体連合会の会員並びに関係の皆様には、私の政治活動にご理解とご支援を頂戴し、厚く感謝申し上げます。本年も現場主義に徹し、農業農村の振興に努めてまいりますのでよろしくご指導をお願い致します。

まず、年末に発生した青森県東方沖地震により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、去年は、土地改良法改正、食料・農業・農村基本計画の策定、新たな土地改良長期計画の策定、第一次国土強靱化実施中期計画の策定、高市内閣の発足等、我が国にとって節目の年であったと考えています。

3月の土地改良法改正では、農業生産の基盤の整備に加えて保全に必要な施策を講ずることが明定され、土地改良区が市町村等と連携して水土里ビジョンを作成し、土地改良施設及び末端施設の保全を行う仕組みを位置付けました。

4月の食料・農業・農村基本計画では、令和7年度からの5年間で農業の構造転換を集中的に進めることとし、「地域計画に基づく担い手への農地集積・集約化」、「農地の大区画化」等に関し具体策を位置付け、また、「食料システム全体で合理的な費用を考慮した価格形成を推進」することも位置付けました。自民党は、基本計画の実施に関して別枠予算の確保を求め、私は実務的に2.5兆円の積み上げを行いました。

9月には新たな土地改良長期計画が策定され、「農業水利施設の戦略的な保管理による持続的な機能確保」、「激甚化・頻発化する災害に対応した防災・減災対策」等に関する5つの目標を設定しました。

6月には令和8年度から12年度までを実施期間とする第一次国土強靱化実施中期計画が策定され、5年間の事業規模をおおむね20兆円強程度を目途とし、土地改良では、防災重点農業用ため池の防災・減災対策、農業水利施設等の老朽化・耐震化対策などを進めることとしました。

11月には、総合経済対策が閣議決定され、食料安全保障の確立、防災・減災・国土強靱化等を推進していく上で必要な対策と予算が盛り込まれ、土地改良関係では2,439億円が措置されました。

これらの政策を進めるためには土地改良の推進が重要で、特に農業構造転換集中対策期間の5年間では別枠予算も確保して強力に進めていく必要があります。令和8年度に執行可能な土地改良予算は、令和7年度補正2,439億円と令和8年度概算決定4,504億円の合計6,942億円(昨年比442億円増)となっています。予算のスムーズな執行に対する貴連合会による技術支援と会員土地改良区及び市町村の皆様のご協力をお願いいたします。私は本年も土地改良の推進のため努力してまいりますので、皆様方からの益々のご指導、ご支援をお願い致します。

令和8年度 農業農村整備事業関係予算

概算決定の概要

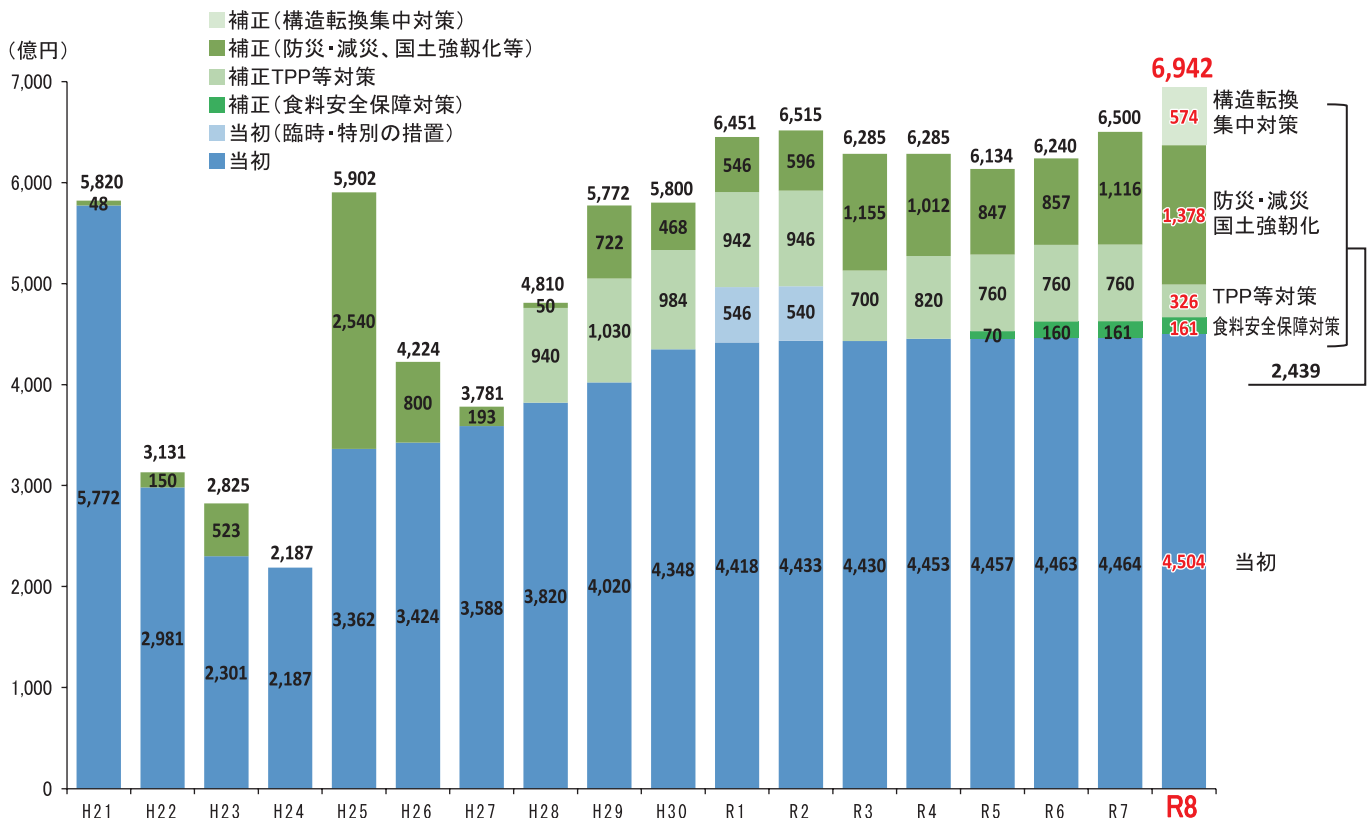
農業農村整備事業関係予算について、令和8年度当初予算は4,504億円（対前年度比100.9%）、令和7年度補正予算は2,439億円が計上され、総額は6,942億円となりました。防災・減災や国土強靱化に加え、農地の大区画化の推進、中山間地域におけるきめ細かな対応、スマート農業技術の開発など、農業構造の転換を着実に推進する内容となっています。

（単位：億円）

	令和7年度 当初予算	令和8年度 当初予算 A	令和7年度 補正予算 B	合計 A + B
農業農村整備事業(公共)	3,331	3,365 <101.0%>	2,165	5,530
農業農村整備関連事業(非公共)	548	554 <101.2%>	274	828
〔 農地耕作条件改善事業 大区画化等加速化支援事業 畑作等促進整備事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農業生産基盤情報通信環境整備事業 農山漁村振興交付金 〕				
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	584	584 (100.0%)	—	584
計	4,464	4,504 <100.9%>	2,439	6,942

（注）計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

農業農村整備事業関係予算の推移



農業農村整備事業予算の確保等に向けた要請活動

本会は、8月7日（木）と11月17日（月）、農林水産省、財務省、県選出の国会議員、そして進藤議員に対して、令和8年度農業農村整備関係予算の確保等に向けた要請活動を実施しました。

11月には以下の内容で要望しました。

- ① 農業構造転換に資する農業農村整備を着実に推進するための
令和8年度当初予算と令和7年度補正予算の措置
- ② 農業・農村の強靱化に向けた支援
- ③ 多面的機能支払交付金制度の充実と必要な予算の確保
- ④ 土地改良区の運営基盤強化に向けた支援
- ⑤ 農業生産基盤の根幹をなす国営土地改良事業の計画的な推進

丸井会長は、「青森県では県や土地連、コンサルなど技術者の人材不足が深刻化し、事業量の急速な拡大に対応することが極めて困難な状況にあるため、限られた期間で実施体制を整え、円滑に事業を進めるためには県だけでなく国の関与が不可欠である。」と強く要望しました。



庄司農林水産大臣政務官（8月7日）



横山財務副大臣（8月7日）



山本農林水産大臣政務官（11月17日）



高橋財務大臣政務官（11月17日）

東北・北海道土地改良事業団体連合会 連絡協議会の活動

東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会は、6月19日（木）と11月26日（水）、農林水産省、財務省及び復興庁並びに自由民主党に対して、令和8年度農業農村整備関係予算の確保と東日本大震災からの復旧・復興等に向けた要請活動を実施しました。

- ① 新たな食料・農業・農村基本計画および土地改良長期計画の
実現に向けた農業農村整備関連予算の確保
- ② 農業・農村地域の国土強靱化に向けた支援
- ③ 近年の大規模災害からの復旧・復興に係る支援
- ④ 土地改良区の運営体制等の強化に向けた支援
- ⑤ 農業・農村再生に必要な予算の確保（東日本大震災関係）

上記の要請内容に対し、鈴木大臣からは「予算は極めて重要であり、昨今の物価上昇を踏まえると、対前年比が同額では実質的に目減りしてしまうことになる。そのため、コストが上がっている分以上に補正予算も含めてしっかりと対応させていただく。」との回答をいただきました。



鈴木農林水産大臣（11月26日）



鈴木自民党幹事長（11月26日）

各種会議における協議の内容

名称	開催月日	場所	主な協議事項
会長会議	12月9日～10日	福島県いわき市	要請活動の内容、福島県復興状況について
事務責任者会議	5月7日	青森県むつ市	通常総会、各種協議会事務局について
	10月6日	岩手県盛岡市	土地改良大会表彰、照会事項等について
事務主任者会議	9月9日	岩手県盛岡市	各種協議会事務局、照会事項等について
技術主任者会議	12月11日～12日	青森県八戸市	受託状況、照会事項等について
管理主任者会議	11月19日	岩手県盛岡市	土地改良区機能強化支援、維持管理適正化事業、土地改良区の統合整備について
専門指導員会議	11月20日		
会計指導員会議	11月13日～14日	福島県福島市	会計指導および指導監査の現状、経営診断の取組について
換地業務担当者会議	8月21日	福島県福島市	換地に係る懸案事項等について
女性活躍推進会議	10月22日	岩手県盛岡市	女性の会の活動、女性理事の登用について

令和7年度 事業計画重点推進事項の取組状況

本会における令和7年度の重点推進事項の取組状況をお知らせします。

重点推進事項1. スマート農業の導入やICT活用を促進する農地整備の推進

各地区の要望を踏まえたほ場整備事業計画の取りまとめや、実施設計等に取り組むとともに、スマート農業の導入に対応した基盤整備の推進を図ります。

担当部署：農地整備部（電話：017-723-2404）

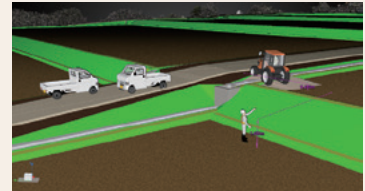
◆ 取組状況

担い手への農地集積・集約化を促進するため、油川地区をはじめとする3地区で事業計画の策定を進めています。

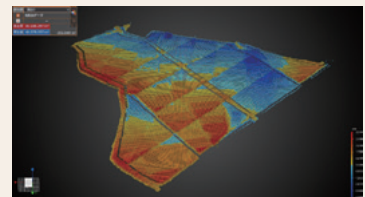
スマート農業の実装に向けては、中山間地域などの小規模ほ場にも目を向け、地域条件に応じた基盤整備手法の検討を進めています。

また、農業農村整備におけるDXの推進として、プロセス全体（測量、設計、施工）におけるICT活用を進めるため、谷地田地区および風合瀬地区をモデル地区に設定し、3次元測量および3次元設計データを作成しました。

3次元設計データは、地元説明会において完成イメージを直感的に伝える手段として活用するとともに、ICT建設機械による施工を検証するなど、農業基盤整備の高度化・効率化に向けた取組を進めています。



3次元設計モデル(風合瀬地区)



切土量(青色)、盛土量(赤色)の把握(風合瀬地区)



ICT施工現場見学会(谷地田地区)



研修会の様子

◆ 本会のDX推進に向けた研修会を実施

11月6日(木)、本会のDX推進に向けた研修会の一環として、静岡県土地改良事業団体連合会に、本会技術職員9名が参加しました。

研修では、災害現場等におけるドローン活用事例の紹介や、ドローンで取得したデータを用いた3次元点群データの作成方法について説明をいただき、実務への具体的な活用方法について理解を深め、DX推進に向けた貴重な研修となりました。

重点推進事項2. 農業水利施設の長寿命化対策の推進

将来的にわたって持続可能な営農を実現するため、老朽化が進行している農業水利施設の機能保全計画の更新を支援します。

担当部署：水利整備部（電話：017-723-2404）

◆ 取組状況

今年度は、揚排水機場2施設、用排水路13施設の機能診断と機能保全計画の策定および更新を行っています。

本会では施設の現状を確認するための、コンクリート構造物の各種調査やポンプ・機器類の概略診断等を実施し、調査結果に基づき施設の機能維持や長寿命化を図るための最適な対策時期や工法を提案しています。



中性化深さ調査実施状況

重点推進事項3. 防災重点農業用ため池の防災・減災対策の推進

ため池サポートセンターによる、技術的な指導等を継続的に実施するとともに、改修工事が必要なため池の計画的な防災・減災対策の実施を支援します。

担当部署：水利整備部（電話：017-723-2404）

◆ 取組状況

青森県ため池サポートセンターでは、県内384か所の防災重点農業用ため池を対象に、計画的な廃止や日常の維持管理に関する相談に対応し、内容に応じた助言や指導を行っています。

今年度は、14件の相談が寄せられ（12月10日現在）、ため池の廃止工事に関する相談件数が多くなっています。



廃止予定ため池の現場確認状況

重点推進事項4. 農業集落排水施設の計画的な更新整備の推進

老朽化した農業集落排水施設の適正な維持更新を図るため、維持管理の効率化・適正化に向けた施設整備を推進します。

担当部署：水利整備部（電話：017-723-2404）

◆ 取組状況

今年度は、2市町（5処理施設）からの委託を受け、「維持管理適正化計画」を行っています。

青森県では、市町村の事業計画に基づき、年間5地区程度を対象に計画的な策定を進めていることから、当会では引き続き市町村への支援に取り組んでいきます。



処理水槽の汚泥沈殿調査状況

重点推進事項5. 多面的機能支払活動組織の体制強化を支援

活動組織が継続的に共同活動を実施できる体制の構築を図るため、事務体制の整備等に関する提案を行っています。あわせて、行政機関や土地改良区が事務委託を通じて組織活動と連携・支援できる体制の構築を推進し、組織活動の持続性を高めています。

担当部署：水利整備部（電話：017-723-2404）

◆ 取組状況

農業者の減少など人手不足等により、地域で行われてきた共同活動に参加する人が少なくなり、運営に支障をきたしている活動組織が多くなっています。

今年度は、関係機関と連携し、運営の見直しや負担軽減につながる「活動記録システム」の操作研修を県内3会場で実施しました。

研修には、土地改良区にも参加いただき、活動組織の事務作業を受託しやすい体制づくりに努め、地域活動が継続しやすい環境づくりに取り組んでいます。



「活動記録システム」
操作研修実施状況

重点推進事項 6. 土地改良区の運営基盤強化に向けた支援

地域の農業生産の保全及び土地改良区の運営基盤強化に向け、土地改良区関係者と連携して農業水利施設の保全に取り組めるよう支援します。

担当部署：総務管理部（電話：017-723-2401）

◆ 取組状況

・土地改良区の経営診断

土地改良区の運営基盤の強化と、経営収支の健全化の取組として、今年度、水土里ビジョンを策定している、17土地改良区に対し経営診断を実施しました。

土地改良区の財務・運営状況を分析し、課題を明確化して持続的な健全経営と改善策立案を支援しています。

・女性理事登用の促進

10月28日から29日、全国土地改良事業団体連合会に同行し、「女性理事登用の働きかけ」として、8土地改良区と農林水産事務所を交え、女性理事の登用時期や課題等について意見交換を行いました。

この取組により、各地域における取組の方向性が共有され、令和8年3月の目標達成に向け、より活発な活動が期待されます。

重点推進事項 7. 年代別研修及び資格取得に関する支援等による人材育成の強化

年代や職務経験に応じた効果的な研修会を開催するほか、土地改良区職員の技術力向上を目的とした資格取得や講習会・研修会への参加を支援します。

担当部署：総務管理部（電話：017-723-2401）

◆ 取組状況

令和7年4月、すべての土地改良区を対象に、職員の技術力向上につながる資格試験に関する情報を周知しました。

今年度は、第二種電気工事士3名をはじめ、玉掛け技能講習1名、小型移動式クレーン技能講習1名、チェーンソーによる伐木等特別教育2名に対して助成を行い、現場で役立つ技能の習得を支援しました。

重点推進事項 8. 課題解決に向けた支援

畑地化促進事業や水田活用の直接支払交付金への対応をはじめ、県内外の情勢変化に起因する地域課題については、土地改良区の組織運営への影響が懸念されることから、課題解決に向けた支援を行います。

担当部署：総務管理部（電話：017-723-2401）

◆ 取組状況

畑地化促進事業や水田活用の直接交付金については、関係機関と連携を深めながら、問い合わせへの丁寧な対応や、分かりやすく迅速な情報発信に取り組んでいます。今後も、現場の声を大切にしながら、課題の解決に向けた支援を続けていきます。

第47回 全国土地改良大会 佐賀大会



第47回 全国土地改良大会佐賀大会が、10月15日（水）、佐賀県のSAGAアリーナにおいて、「水を利用して土を活かす さがで語ろう 郷里の未来」をテーマに開催され、全国から土地改良関係者ら約4,500名（本県からは44名）が参加しました。

式典では、佐賀県土連 田島会長の開会挨拶に続き、全土連 二階会長の主催者挨拶、山口佐賀県知事と坂井佐賀市長から歓迎挨拶がありました。続いて、来賓祝辞として、小泉農林水産大臣（笹川農林水産副大臣代読）、宮原佐賀県議会議長、進藤参議院議員がお祝いを述べました。

次に、土地改良事業功績者表彰では、本県からは石塚 正義氏（名川土地改良区理事長）が農林水産省農村振興局長表彰を、三和 金春氏（市浦土地改良区理事長）が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞されました。

その後、基調講演、優良事例紹介、大会宣言と続き、最後に次期開催県となる奈良県へ大会旗の引き継ぎが行われました。

来年度に開催される第48回全国土地改良大会奈良大会は、「『きれいな水』『豊かな土地』『美しいふる里』水土里が育てる まほろばの奈良」をテーマに、令和8年11月17日（火）に「奈良県コンベンションセンター」で行われる予定です。

農林水産省農村振興局長表彰



石塚 正義 理事長
（名川土地改良区）

全国土地改良事業団体連合会長表彰



三和 金春 理事長
（市浦土地改良区）



大会式典の様子

インターンシップを実施しました！



10月8日（水）～10日（金）の3日間にわたりインターンシップを実施しました。県内の農業高校から1名の学生が参加し、本会の業務説明、3次元設計データの作成体験をしてもらいました。現場では、表土厚や地耐力の調査、ドローン操作体験、排水機場でのストックマネジメント調査など幅広い業務に熱心に取り組んでいただきました。また、女性の会職員との交流会も行い、日々の働き方、職場の雰囲気について直接触れていただきました。



地耐力調査(下石川地区)



3次元設計データの作成体験



ドローン操作体験(下石川地区)



ストックマネジメント調査(川尻排水機場地区)

弘前大学合同企業研究セミナー



11月21日（金）、弘前大学にて合同企業セミナーが初めて開催され、本会も参加しました。本セミナーは、農学生命科学部 地域環境工学科の学生30名が、講義にて取り組んでいる「地域環境工学実験」が、実社会においてどのように活用されているのか、企業・団体へ聞き取りを行い、理解を深めるとともに、今後の勉学に活かしていくことを目的としています。本会からは、ほ場整備や水路の調査設計、3D設計などの業務について説明を行い、学生と活発な意見交換を行いました。



合同企業セミナーの様子



青の煌めきあおもり国スポ・障スポ



「企業協賛に係る感謝状 贈呈式」

7月29日（火）、ホテル青森において、青の煌めきあおもり国スポ・障スポへ協賛したことに対する感謝状を宮下知事より頂きました。

これからも、大会の成功と青森の農業農村整備に携わる皆様の期待に添えるよう全力で取り組んでまいります。



宮下知事から感謝状の贈呈



協賛企業での集合写真

「開催1年前イベント」へのPRブース出展

9月20日（土）・21日（日）、青森市カクヒログループスーパーアリーナで開催された「開催1年前イベント」に、農業農村整備の広報活動の一環として、若手職員が中心となりPRブースを出展しました。

PRブースでは、米価の高騰や供給不足が社会的関心を集めている状況を踏まえ、「あおもりの美味しいお米の基盤作り！」をテーマに掲げ、ほ場整備の大切さや役割について動画やパネルを使って、丁寧に説明するとともに、3つの催し物を体験することで、楽しく学べる内容としました。



ほ場整備について説明



米の計りゲーム



豪華景品が当たるガチャガチャ



イベントに参加した若手職員での集合写真

女子力で発信！ あomorい水土里ネット 女性の会

1 第7回通常総会（6月23日）



～議決事項～

- ・令和6年度事業及び収支決算について
- ・令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

2 ビジョンアップセミナー 情報交換会（6月23日）



坪主幹専門員の講義



茶話会で情報交換

「土地改良区における定期検査等について」
講師：上北農林水産事務所 管理課
主幹専門員 坪昌代

3 支部ミーティング



東青下北支部、土地連支部
（合同開催）
寅福菜園むつ市農場の現地視察

中弘・南黒支部
温湯頭首工の視察



三八支部、上十三支部
（合同開催）
指久保ダム・小水力発電所
の視察



北五支部
浅瀬石川ダムの視察



西津軽支部
メロンの水耕栽培施設視察

4 令和7年度男女共同参画推進大会 in くまもと（11月4日）



全国水土里ネット女性の会
西会長の挨拶



「あomorい水土里ネット女性の会」の活動はフェイスブックをご覧ください
<https://ja-jp.facebook.com/aomori.midorinet.jyoseinokai>



あおもり水土里ネット青年部会

第3回通常総会及び現地研修会

7月18日（金）、土地改良会館において、あおもり水土里ネット青年部会の通常総会が開催され、会員40名が出席しました。

総会では、浅利会長（西津軽土地改良区）の挨拶に続き、令和6年度事業報告と収支決算、令和7年度活動計画と収支予算が審議され、原案通り承認されました。

また、11月17日（月）、18日（火）、津軽管内にて現地研修会を実施し、会員29名が参加しました。現地研修では、津軽ダムから十三湖地区にかけての土地改良区施設や改修中の工事現場を視察しました。現場説明は各施設の管理を担っている青年部会の会員が行い、施設の維持管理や改良区内での取組について活発な意見交換が行われ、今後の業務の参考となる有意義な現地研修となりました。



浅利会長挨拶(通常総会)



野木分水工(現地研修会)



若宮機場(現地研修会)

令和7年度 青森県土地改良団体連合職員会

総会及び研修会

12月1日（月）、弘前パークホテルにおいて、令和7年度 青森県土地改良団体連合職員会総会が開催され、会員75名が参加しました。

総会では、齋藤会長の挨拶に続いて、永年勤続者表彰が行われ、35年以上1名と10年以上5名が表彰を受けました。その後、令和6年度事業報告と収支決算、令和7年度事業計画と収支予算が審議され原案通り承認されました。

総会終了後、同会場にて研修会が行われ、まず、十三湖土地改良区 江良事務局長から、スマート農業の推進や乾田直播栽培への取組について講演いただき、青森県農林水産部農村整備課管理・管理グループ 清水GMより水土里ビジョンの取組状況、作成手順について講演いただきました。次に、青森県環境エネルギー部自然保護課鳥獣対策グループ 松村総括主幹よりツキノワグマの生態や県内の人身被害状況、遭遇しないための対策と遭遇した場合の対処法について講演いただきました。最後に、ソムリエ・弘前シードル協会会員 宮様より青森りんごとシードルの歴史、魅力についてご講演いただき、今後の実務において有益なお話をいただきました。



永年勤続者表彰を受賞された方々



江良事務局長



清水GM



松村総括主幹



宮様

災害復旧事業研修

6月12日（木）、土地改良会館において、災害復旧に係る専門知識の習得と現場技術力向上を図る目的で、災害復旧事業研修が開催され、県や市町村、土地改良区、設計コンサルタント、土地連職員など133名が参加しました。

研修では、青森県農村整備課より令和6年度災害発生状況と災害発生から事業完了までの流れについて講演いただき、東北農政局農村振興部防災課より災害復旧事業に関する法律と復旧工法・災害査定について、本会より概算被害額の算出方法について講義が行われ、技術者として災害復旧事業についてのスキルアップを図りました。



研修会の様子

青年・若手合同研修会

7月18日（金）、土地改良会館において、農業農村整備事業に係る専門知識の習得を図る目的で水土里ネット若手職員及び青年部会合同研修が開催され、県内の土地改良区、土地連職員など73名が参加しました。

研修では、青森県農村整備課より、中山間地域でのDX実証実験の取組と検証結果、農業農村整備事業の情報発信とSNSの活用について講義が行われた後に、東北農政局農村振興部 三阪設計課長より土地改良区の運営基盤と農業水利施設の保全管理に関する支援施策について講義が行われました。

最後に、三阪設計課長と土地改良区職員との意見交換会が行われ、土地改良区からは農地の集約化への課題や物価高騰に対する負担軽減など、現場が抱える問題について活発な意見が交わされました。



水木氏による講演



三阪氏による講演

土地改良区役職員研修会

12月10日（水）、11（木）に青森市と十和田市において、土地改良区の強化体制を図ることを目的に土地改良区役職員研修会が開催され、52土地改良区から合計306名が参加しました。

研修では、県農村整備課の村本課長より、土地改良法改正を踏まえ、本県の保全対策が必要な農業水利施設の状況や「農林水産力」強化パッケージでの取組、土地改良区の女性理事登用についての講義が行われた後に、全国土地改良事業団体連合会 阿部参与より、農家負担軽減支援対策事業の内容や、先端的な技術を活用した場合の事業の取り扱い方などの講義が行われ、今後の土地改良事業における業務への理解向上を図りました。



阿部氏による講演

青森県多面的機能支払推進協議会

令和7年度 活動記録システム操作方法初心者研修会及び事務担当者説明会

6月9日(月)、12日(木)、13(金)、青森市をはじめ県内3会場では令和7年度事務担当者説明会が開催され、活動組織や土地改良区、市町村担当者など259名が参加しました。

説明会では、令和7年度より拡充された、多面的機能支払交付金の取組や改正のポイントについて説明をしたほか、令和6年度の個別指導での指摘事項を共有し、事務処理の行い方について再確認していただきました。また、青森県総合検診センター 下山所長から熱中症と関連して起きる重篤な病態の紹介や重大な疾患リスクを把握するための健診活用について助言をいただきました。



研修会の様子

補修技術研修

11月19日(水)、20日(木)、十和田市をはじめ県内2会場において補修技術研修を開催し、活動組織や土地改良区、市町村担当者など310名が参加しました。

研修では、桜井保全会 葛西副会長(つがる市)より、活動内容や水路更新・補修の事例について紹介いただきました。次に、岩手県多面的機能支払推進協議会の金平企画支援専門員より、水路簡易補修を行う際の見栄えする目地補修にするための4つのポイントについて講演いただきました。最後に事務局より、直近3年間に発生した作業中の事故事例を基に注意喚起を行い、事故防止に向けた安全意識の向上を図りました。



金平企画支援専門員の講演

活動組織リーダーの集い

12月23日(火)、青森市において、活動組織リーダーの集いが開催され、379名が参加しました。

集いでは、活動組織を対象とした、植栽コンクールの入賞者を表彰した後、特別講演として、山形県最上町広域協定 大場事務局長より、広域協定の概要と災害対応や獣害対策支援班の設置の背景と活動内容について講演いただきました。次に、立梅用土地改良区 山本様より、立梅用水スマート化の取組の概要と農村RMO協議会の取組についてご講演いただきました。

最後に、講演者と県内土地改良区によるパネルディスカッションが行われ、保全会における取組事例の紹介や、土地改良区としての取組内容、活動組織が抱える課題について意見交換が行われ、有意義な集いとなりました。



植栽活動コンテスト受賞者

- 農山漁村 - 水循環保全学会

小学生を対象とした「水の旅」

県内の農業を支えている「水」の重要性について、次世代に伝えることを目的とし、県内の小学生を対象にした「水の旅」を実施し、今年度は13校で実施しました。

この活動では、農業に必要な不可欠な水が、田んぼや畑にどのように届けられているのかを知ってもらうため、水の供給源となるダムや、農業用水の取水に重要な頭首工など、普段は見ることのない水利施設の見学や、農業用水の水循環について紙芝居を用いて分かりやすく行っています。



津軽ダム施設見学



芦野頭首工施設見学

「白神の森とリンゴ畑へ冒険! 自然と農業にふれる秋の旅」バスツアー

10月25日（土）、青森県農林水産部農村整備課との共催により、弘前市および西目屋村を中心としたバスツアーを開催し県内外から35名が参加しました。

ツアーでは、一般市民の方に水循環の重要性と農村整備事業への理解を深めていただくことを目的に、多様な現場をめぐるしました。

まず、水の源である白神山地ブナ林の散策からスタートし、豊かな自然が育む水の流れを体感していただきました。その後、農業用水をりんごの病害虫防除に利用するための施設の見学やりんごの収穫体験を行いました。

最後に、現在整備を行っている農道橋の見学を行い、農産物の効率的な流通や農村の生活基盤を支える農村整備事業の役割について理解を深めました。



白神山地ブナ林散策



りんご公園での記念撮影

各種行事等

令和7年度 あおもりの農山漁村フォトコンテスト入賞者

－農山漁村－ 水循環保全学会(事務局:水土里ネット青森)主催により、県内外から156点の応募がありました。

農山漁村の風景部門 テーマ「とびっきり」

最優秀賞



「こんぺいとうが揺れる丘」
山内 雅人 (弘前市)

【優秀賞】



「残雪の八甲田に抱かれて」
福田 和郎 (八戸市)



「森に佇む木製土留工」
蛭名 昭弘 (東北町)

【優良賞】



「秋空の稲穂」
相馬 功輝 (秋田県)



「時が止まる場所」
福士 美智子 (弘前市)

【青少年奨励賞】



「秋を彩る祖母のりんご」
三浦 風瑚 (弘前市)



「漁村の休日」
鳥谷部 莉玖 (八戸市)



「とびっきりのうまいもの」
蓬畑 敬也 (八戸市)



「染る空、水田」
相馬 勉 (弘前市)



「海上渡御」
船山 義郎 (七戸町)

人々の暮らし部門 テーマ「はれやか」

【優秀賞】



「門酒」
三戸 俊彦 (青森市)



「秋の香り」
木村 奈緒美 (青森市)

最優秀賞



「神道を彩る大漁旗」
帖谷 知樹 (青森市)

【優良賞】



「縁側で一休み」
福田 和郎 (八戸市)



「繁忙期の賑わい」
三浦 風瑚 (弘前市)

【青少年奨励賞】



「お山参詣」
竹内 恭一 (中泊町)



「緊張の晴れ舞台」
原子 亜理沙 (青森市)



「日曜ドライブ」
蓬畑 敬也 (八戸市)



「白狐のぬくもり」
北上 にご (八戸市)



「みんな虜」
斉藤 優華 (八戸市)

水土里ネットラジオ時報CM(秋)



農業農村整備の広報活動の一環として、農業に携わる皆さんへのエールを込めるとともに、農業・農村の魅力や「土地改良」の役割を多くの方に知っていただくことを目的に「ラジオ時報CM」の収録を行いました。放送は、9月1日から10月3日までの1か月間、平日の午後13時に行われました。



1週～2週目の参加者



3週～5週目の参加者

多面的機能支交付金 絵画コンクール 受賞者



最優秀賞



『トンボの目』
中泊町立武田小学校 5年
塚本 流生

【優秀賞】

十和田市立ちとせ小 5年	清水 一華	鶴田町立鶴田小 6年	吉川 輝琉
十和田市立藤坂小 2年	苦米地航輝	青森市立北小 6年	奥谷 由芽

【優良賞】

中泊町立中里小 4年	大川 咲	つがる市立稲垣小 4年	佐々木瑚都
十和田市立北園小 1年	千葉 大耀	つがる市立穂波小 5年	葛西穂乃花
十和田市立南小 2年	豊川 晃都	十和田市立ちとせ小 1年	佐々木煌來
十和田市立ちとせ小 3年	佐々木悠來	つがる市立穂波小 5年	樋口愛莉奈
十和田市立ちとせ小 5年	中野渡ひなた	つがる市立稲垣小 4年	野宮実乃梨

多面的機能支交付金 植栽活動コンテスト 受賞組織



最優秀賞



高瀬環境保全会 (五所川原市)

【入賞作品は本会ホームページに掲載中】
<http://www.aohozen.jp/contest/>

【優秀賞】

石郷みどり会 (平川市)
若宮地区農地・水・環境保全組織 (中泊町)
晴山資源保全隊 (十和田市)

【優良賞】

尾上南部地区保全会 (平川市)
葛原地域資源保全会 (弘前市)
鶴ヶ岡環境保全会 (五所川原市)
土場川水土里保全会 (七戸町)
沖善津保全会 (つがる市)
長科地域水土里保全隊 (蓬田村)

【奨励賞】

森林地区環境保全隊 (南部町)

● これからの行事予定

2月17日(火)	支部会議(東青・下北支部、中弘・南黒支部)	青森市、弘前市
20日(金)	支部会議(西津軽支部、北五支部)	つがる市、五所川原市
26日(木)	支部会議(上十三支部、三八支部)	十和田市、八戸市

3月18日(水)	第69回通常総会	青森県土地改良会館
----------	----------	-----------

● 資格試験合格者 (令和7年7月から12月現在)

農業用ため池管理保全技士	水利整備部水利防災グループ	小 鹿 勇 児
	水利整備部水利防災グループ	田 中 暁